

議事録

件名： 契約監視委員会（第二回）		
日時： 2010年2月16日（火曜日） 14:00 ～ 16:20		
場所： JICA 本部内会議室		
外務省 武正公一 副大臣、南秘書官 委員： 川上 照男 有限会社オフィス・あさひ 代表取締役（公認会計士） 碓井 光明 明治大学大学院法務研究科教授 霞 晴久 優成監査法人（公認会計士、公認内部監査人、公認不正検査士） 鈴木 規央 シティユーワ法律事務所（弁護士、公認会計士） 金丸 守正 国際協力機構 監事		
JICA	上田 善久 理事 渡邊 正人 総務部長 乾 英二 総務部次長 岡村 邦夫 企画部長 木邨 洗一 企画部審議役 小西 淳文 経済基盤開発部長 不破 雅実 経済基盤開発部次長 吉田 丘 国内事業部長 柏谷 亮 国内事業部次長 小川 登志夫 青年海外協力隊事務局次長	
（事務局）	早瀬 隆昌 調達部長 山田 好一 調達部審議役 柴田 信二 調達部次長（国内契約・機材調達担当） 高田 裕彦 調達部次長（コンサルタント契約担当） 松下 篤 調達部次長（企画調整）	
議題： (1) 点検対象契約の確認 (2) 点検対象契約の点検・審議 (3) 今後の予定（JICA 調達部より説明）		

議事概要：

第1回契約監視委員会の審議を踏まえて抽出された11件（別紙）について、点検が行われた。主な審議内容は以下のとおり。

1. 関連公益法人との契約に関するもの

委員：規模が大きい契約については、業務を細分化することにより、応札の機会が広がるのではないか。

機構：平成20年度研修監理管理業務契約については、平成22年度分から、業務内容及び国内機関ごとに分割し、総合評価落札方式にて選定することとした。平成20年度ボランティア事業支

援業務についても同様に、平成 22 年度分から契約を分割するとともに総合評価落札方式にて行うことを検討する。

委員：平成 20 年度無償資金協力案件に係る概算事業費分析業務（その 2）について、このような業務内容は、直営で実施することが望ましいのではないか。

機構：平成 22 年度分から、直営で行うべく準備中。

2. 競争性のない随意契約に関するもの

委員：平成 20 年度「国際溶接技術者研修」については、国際的に通用する資格が当該契約相手方では取得できないのであれば、随意契約とせざるを得ない。

委員：第二次及び第三次国際情報通信網整備（平成 20 年度及び 21 年度）については、第一次の契約相手先と特命随意契約により契約し、平成 23 年度分については総合評価落札方式により選定したとのことだが、このような場合、従前の契約相手方に有利な仕様にならないよう留意すべき。

委員長：第二次及び第三次国際情報通信網整備（平成 20 年度及び 21 年度）については、その観点から、次回委員会において平成 23 年度分の契約の点検を行う。

委員：草の根（アフガニスタン）バルフ州医療無線網設置計画（第 2 年次）業務委託契約について、草の根技術協力は NGO 側の発意で行われるとのことなので、契約締結に至る手続きよりも、締結後において支出を適切にチェックすることの方が重要。

機構：支出については、四半期ごとに事業費を概算払いし、精算報告書をチェックする方法をとることにより、適切な支出を確保している。

3. 一者応札・応募に関するもの

委員：JICA ホームページ日本語サイト及びメールマガジン運営管理業務の実施において 1 者応募だったとのことだが、なるべく早い時期に年間の発注見込みを発表しておくような工夫をしようか。

委員：ベトナム国持続可能な総合運輸交通開発戦略策定調査（VITRANSS2）（第 2 年次）について、応募者が作成するプロポーザルとは、どの程度のレベルのものか。短期間で作成するのは困難ではないか。

機構：簡単に作成できるものではないが、応募者であるコンサルタントは、高いレベルの専門家集団であるため、対応できている。

委員：建物等総合管理業務経費について、初年度に企画競争とあるが、なぜ技術評価なのか。

機構：実際には、技術と価格の両方で評価しており、実態は総合評価方式であった。

委員：企画競争の場合、技術点の公正さを担保するのは難しいため、選定委員会の構成を工夫する必要があるかもしれない（例えば外部から委員を入れている事例もある）。

委員：フィジー・トンガ国地震観測網の運用プロジェクト向け機材について、入札事務委任先として財団法人国際協力システムとの記載があるが、本件事務を外注する必要があるか。

機構：専門性の高い機材のスペックを作成するためにはノウハウが必要であり、直営での実施は難しい。

4. 今後の予定

事務局から、本日の議論を踏まえて、総務省に提出する「随意契約等見直し計画（案）」を事務局で作成し、委員に諮るために委員会を開催することを提案し、全委員の了解を得た（次回委員会は、2月22日の週に開催する方向で調整中）。

以 上

契約監視委員会（第二回）案件一覧

	No	分野区分	契約名称及び内容	契約の相手方	契約方法	契約金額
関連公益法人	16	その他役務	平成 20 年度研修監理業務契約	財団法人日本国際協力センター	実質継続契約（初年度に企画競争実施）	1,855,053,257
	17	その他役務	平成 20 年度ボランティア事業支援業務	社団法人青年海外協力協会	実質継続契約（初年度に企画競争実施）	1,446,962,691
	20	その他役務	平成 20 年度無償資金協力案件に係る概算事業費分析業務（その 2）	財団法人日本国際協力システム	競争性のない随意契約	120,294,300
競争性なき 随意契約	3	研修	平成 20 年度「国際溶接技術者研修」委託契約	社団法人日本溶接協会	競争性のない随意契約	23,175,784
	12	システム関連	第二次及第三次国際情報通信網整備（平成 20 年度及び 21 年度）	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	競争性のない随意契約	724,591,599
一者応札・応募	1	草の根	草の根（アフガニスタン）バルフ州医療無線網設置計画（第 2 年次）業務委託契約	BHN テレコム支援協議会	公募	16,600,043
	5	広報	JICA ホームページ日本語サイト及びメールマガジン運営管理業務の実施	株式会社国際協力データサービス	一般競争入札	61,889,307
	6	コンサルタント	ベトナム国持続可能な総合運輸交通開発戦略策定調査（VITRANSS2）（第 2 年次）	株式会社アルメック	実質継続契約（初年度に企画競争実施）	395,241,000
	10	在外案件	Replenishment of Emergency Relief Operation Goods	Kamei Singapore Pte Ltd	実質継続契約（初年度に一般競争入札実施）	122,892,134
	15	製造・物品購入	フィジー・トンガ国地震観測網の運用プロジェクト向け機材	丸文株式会社	一般競争入札	42,840,000
	22	建物管理	建物等総合管理業務経費	東京ビジネスサービス(株) 東京	実質継続契約（初年度に総合評価方式実施）	245,700,000